

新型コロナウイルス感染症対策について

1 患者発生状況

(1) 患者数 (感染者累計 : 316,605 件 (10月13日時点))

※過去最多:令和4年8月10日3,990人 (第6波までの過去最多 : 2,351 件 (2月3日))

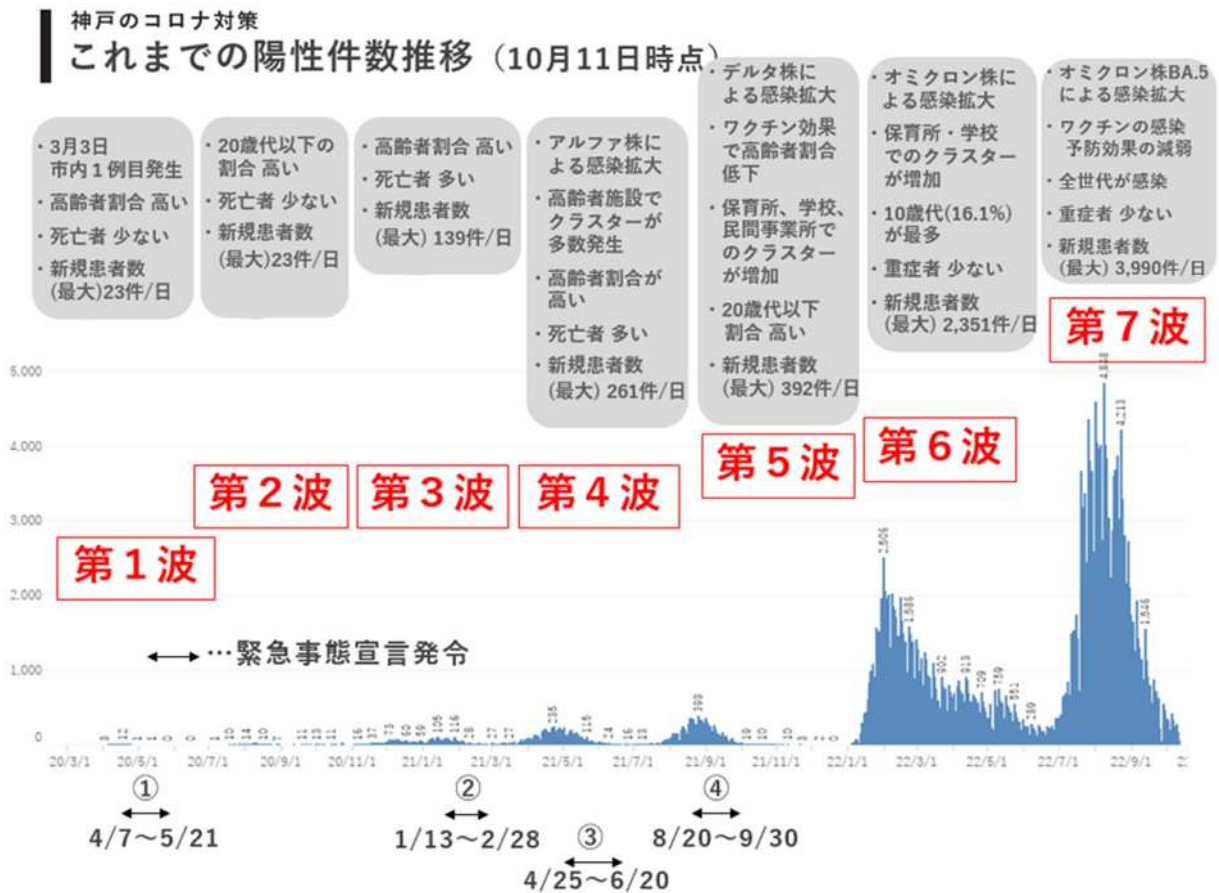
●直近の状況 (発表日ベース)

10/10 ~ 770人 前週の同日比 (累計) -338人 -31%

	期間	月	火	水	木	金	土	日
今週	10/10~10/16	10/10	10/11	10/12	10/13	10/14	10/15	10/16
	感染者数	174	64	112	420			
	累計/週	174	238	350	770			
	先週比 (累計)	-27	-112	-430	-338			
	先週比 (%)	-13%	-32%	-55%	-31%			
先週	10/3~10/9	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9
	感染者数	201	149	430	328	238	255	278
	累計/週	201	350	780	1108	1346	1601	1879
先々週	9/26~10/2	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	10/1	10/2
	感染者数	264	41	548	473	367	343	328
	累計/週	264	305	853	1326	1693	2036	2364

- 直近の陽性件数の状況は、8月10日の3,990件をピークに減少傾向にある。

(2) 期間別の感染状況



(3) 入院・入所者数の直近の比較

①入院の状況

10月13日現在で病床使用率は17.1% (68/398床)、
重症患者病床使用率15.6% (7/45床)、うち重症者4.4% (2/45床)

②宿泊療養施設の状況

10月13日現在で使用率は4% (29/703室 (6施設合計))

2 発生届の全数届出の見直し及び自宅療養者へのフォローアップの強化

国の新型コロナウイルス感染症対策本部において「With コロナに向けた新たな段階への移行」が決定され、9月26日（月曜）から新型コロナウイルス感染症の発生届の全数届出の見直しが全国一律で適用されることとなった。

神戸市では、患者自らがオンラインで個人情報や基礎疾患等を登録する仕組み「陽性者登録フォーム」を自宅療養フォローアップセンターに新たに設け、フォローアップ体制を強化した。

届出対象となる方も、届出対象外となる方も、市民一人ひとりの状況に応じてしっかりフォローしていく。

・発生届対象外、陽性者登録フォームの登録割合（9月28日～10月11日発表分）

①陽性者数	②発生届	③発生届対象外* (①-②)		④発生届対象 外分の割合* (③/①)	⑤陽性者登録 フォームの 登録数	⑥陽性者登録 フォームの 登録割合* (⑤/③)
		オンライン 確認センター				
4,176	1,139	3,037	696	73%	2,608	86%

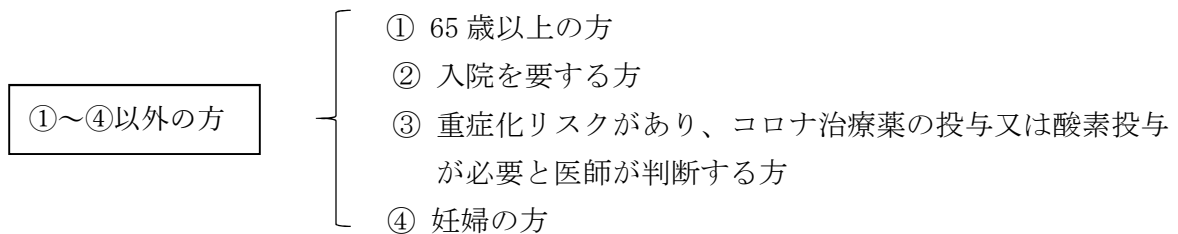
①陽性者数：発表前日にHER-SYSに登録された数（HER-SYS以外の報告は発表前々日分を神戸市が代行登録）

②発生届：発表前日に保健所へ届出された数、③発生届対象外：①から②を差し引いた数

⑤陽性者登録フォームの登録数：発表前々日に患者が申請した数（オンライン確認センターの自動登録を含む）

*①②⑤は同一の日とは断定できないため、③④⑥は参考値

ア) 届出対象外となる方

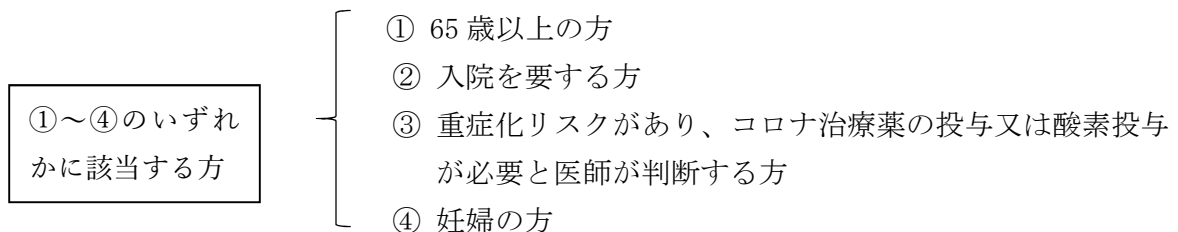


○フォローアップの強化（陽性者登録フォーム）

- ・患者自らが「陽性者登録フォーム」に個人情報、基礎疾患などを登録。
- ・体調悪化時には、24時間対応の自宅療養フォローアップセンターに連絡いただき、「陽性者登録フォーム」の情報を踏まえて、外来受診、往診、入院等を迅速に調整。

※「陽性者登録フォーム」に登録いただいていない方についても、体調悪化時には患者情報を聞き取りの上で対応。

イ) 届出対象となる方への対応（重症化リスクが高い方）



○フォローアップの仕組み（変更なし）

- ・保健所が発生届を受理した後、各区保健センターから患者へ連絡を行い、健康状態などを把握し、入院、入所、自宅療養を調整。
- ・自宅療養者の健康観察は各区保健センターが実施。

※自宅療養者に対する外来受入医療機関等を、下記の通り、確保している。

- ・外来受入医療機関数：25 医療機関（9月30日時点）
- ・外来受入実績：令和4年度 694 件（9月30日時点）
- ・往診、電話診療、オンライン診療の実施（24時間対応）

令和4年度実績（9月30日時点）：

往診:1,347 件 電話診療:358 件 オンライン診療:40 件

3 感染拡大防止、医療提供体制の確保

(1) 病床の確保（10月11日時点）

- ・受入可能な病床は 398 床（うち重症病床 45 床）。
- ・病床ひっ迫時には、市民病院において通常医療を制限し、最大 479 床（うち重症病床 53 床）を確保する。

（参考）兵庫県の医療提供体制にかかるフェーズ：「フェーズⅢ感染拡大期1」

フェーズ		①	②	③感染拡大期1	④感染拡大期2	⑤感染拡大特別期	
フェーズ切替の契機	病床利用率	10%未満	10%以上	20%以上	50%以上	総合的に判断 (800人以上)	
	新規感染者週平均 [週患者数/10万人対]	20人未満 [2.5人未満]	20人以上 [2.5人以上]	80人以上 [10人以上]	400人以上 [50人以上]		
体制	構築の考え方	20人の新規感染者 に対応	80人の新規感染者 に対応	400人の新規感染者 に対応	800人の新規感染者 に対応		
	病床	病床数	300床程度	600床程度	1,000床程度	1,200床程度	1,400床程度～
		うち重症	30床程度	60床程度	100床程度	120床程度	140床程度～
宿泊	室数	300室程度	1,000室程度	1,500室程度	2,000室程度	2,400室程度～	

(2) 外来医療提供体制の確保（神戸市オンライン確認センター）

感染者急増により発熱外来、救急外来がひっ迫する状況の中、高齢者など重症化リスクのある方の受診を最優先とするために、8月4日より、保健所内に「神戸市オンライン確認センター」を新たに設置し、抗原定性検査キットを無料で配布し、陽性判定の方には保健所医師による確定診断をするとともに、薬局において薬の配布等を実施することで、医療機関の受診を控えていただく。

- ・対象者

神戸市在住の基礎疾患等がない6歳～59歳の方で、発熱等の新型コロナウイルス感染症を疑う症状のある方。

・実績(8月4日～9月30日)

キット申し込み数	キット申し込み数のうち、陽性者数	陽性率
55,672 人	13,454 人	24.2%

市内陽性者数	神戸市オンライン確認センターでの陽性者数	神戸市オンライン確認センターでの確定診断割合
110,779 人	24,235 人	21.9%

(3) 要介護者等の検査体制・療養体制の強化

① 定期的検査の対象の拡大

第7波の感染拡大を受けて、直接介護等に従事する職員への定期検査の対象について、入所施設・通所施設で直接介護に従事する職員への定期検査を実施してきたが、8月22日より高齢者等への接触が多い訪問系事業所に対象を拡大した。

② 要介護者の入院受入体制等の強化

○ 高齢者施設等への医療提供体制の強化

- ・ 感染制御・業務支援チームの派遣
入所施設への派遣：141件（1月1日～9月30日）
- ・ 地域の医療機関との連携による往診体制の構築
- ・ 生活支援も含む訪問看護ステーションの確保
訪問看護ステーション契約数：34か所（9月30日時点）
- ・ 陽性患者宅へ訪問介護事業者がサービス提供できるよう、感染症研修内容を継続的に動画配信
- ・ 高齢者施設等への感染症予防対策の巡回訪問指導

○ 要介護者の入院受入体制等の強化

- ・ 要介護者の入院受入支援金（同時期に複数名受入）

3 変異株について

神戸市健康科学研究所では、市内の医療機関や医師会の協力を得て陽性検体を研究所に集約する体制を整え、新たな変異株を検知できるゲノムサーベイランス体制を確保している。市内では、6月16日にBA.5系統の1例目を確認し、現在は、BA.5系統へ置き換わっている。

4 後遺症対策

新型コロナウイルス後遺症相談ダイヤルの運営に加え、第1回後遺症実態調査の結果を踏まえ、感染後の健康状態を確認する健診の機会の提供や、筋力低下を改善するリハビリ・動画作成等を行っている。

今後は、健康面での対策に加え、経済的な影響についても分析を行い、事業者に対して後遺症の理解を深めていただくための情報発信の強化等、必要な検討を行っていく。

(1) 後遺症実態調査の概要とその結果

12月～1月に、第4波の感染者（主にアルファ株）のうち4,276人（回答者：1,621人）に対し、後遺症実態調査を実施し、回答者の約5割から「退院日または療養終了日以降も症状あり」との回答があった。

(2) 主な対策

①後遺症相談ダイヤルの設置

後遺症に関する悩みを抱えている方への相談窓口として開設。(令和3年11月1日～)

【相談実績】3,710件(令和3年11月1日～令和4年9月30日)

- ・1日平均)4月:11.1件、5月:9.4件、6月:5.7件、7月:8.5件、8月:27.6件、9月:16.6件

- ・8月の相談件数は717件であり過去最多であった

【医療機関】後遺症診察対応医療機関数:198機関

②アフターコロナ健診(6月20日より受付開始)

コロナ罹患後患者が受診できる健康診査の受診機会を提供。

(身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、結核健診を実施。)

【実績】令和4年9月末現在:健診受診者:36人、予約者:47人

③後遺症リハビリ

- ・健康リスク改善事業(6月20日より受付開始)

健康ライフプラザで6か月間、計3回の体力測定のほか、週1回までの運動指導やスポーツジムエリアの利用

【実績】:20件(9月末時点)

- ・セルフリハビリプログラム(8月公表開始)

筋力低下対策動画を作成し、市ホームページ等で放映。

(3) 第2回後遺症実態調査について

オミクロン株特有の後遺症症状の有無や罹患後の困りごとについて、実態を把握し、対策を検討していく。前回の調査(主にアルファ株)とオミクロン株の比較を行うとともに、今回新たな調査項目として「ワクチンの接種回数」及び「仕事や学業などへの影響」の項目を追加し、影響の調査も行う。

- ・対象者:第6波(オミクロン株(BA.1・BA.2))の感染者のうち約5,000人
- ・令和4年9月～12月:調査実施 ※年内に調査結果(速報)を公表予定

※後遺症に対する理解を深めていただくことを目的とした広報啓発に取り組んでおり、リーフレットを作成し、7月より神戸市HPで掲載している。



5 新型コロナワクチン接種

(1) オミクロン株に対応した新型コロナワクチンの接種について

新型コロナウイルスのオミクロン株に対応したワクチン（以下「オミクロン株対応ワクチン」という。）は、新型コロナウイルスのうちオミクロン株に対応した成分も含まれるため、従来ワクチンを上回る重症化予防効果や、短い期間である可能性はあるものの、感染予防効果や発症予防効果も期待されている。

オミクロン株対応ワクチンを使用した追加接種については、9月27日より接種を開始しており、初回（1・2回目）接種を完了し5か月経過している12歳以上の全ての方が対象で、一人1回接種できる。

神戸市では、個別接種医療機関、集団接種会場に加え、大規模接種会場（ハーバーランドセンタービル会場）を再設置し、オミクロン株対応ワクチンの接種を希望される方が速やかに接種を受けられるよう取り組んでいる。

※使用するワクチン

オミクロン株と従来株に対応した2価ワクチン

（オミクロン株対応ワクチンの接種は、現時点では一人1回の接種とされている。）

	ファイザー社 (BA1, 従来株)	モデルナ社 (BA1, 従来株)	ファイザー社 (BA4-5, 従来株)	モデルナ社 (BA4-5, 従来株)
対象年齢	12歳以上	18歳以上	12歳以上	
使用開始時期	9月27日	9月27日 (集団のみ)	10月25日(個別) 11月1日(集団・大規模)	承認申請中

(2) 乳幼児（6ヶ月以上4歳以下）への接種について

乳幼児（6ヶ月以上4歳以下）への新型コロナワクチンの接種については、10月24日から開始できるとされた。

神戸市では、対象者全員に対して接種券を発送する予定であり、接種券が届き次第接種を受けられるよう、準備を進めている。

(3) 接種実績

(令和4年10月11日時点)

		接種済み者数	神戸市人口比	接種対象人口比
2回目接種実績（5歳以上）		1,179,516	78%	81%
3回目接種実績（5歳以上）		910,574	60%	77%
4回目接種実績	（60歳以上）	343,754	25%	74%
	（18歳以上60歳未満）※	39,705		—

※18歳以上60歳未満の4回目接種の対象は、基礎疾患を有する方等、医療従事者等に限る。

※3回目・4回目の接種済み者数には、オミクロン株対応ワクチンの接種者数を含む

○オミクロン株対応ワクチン

(令和4年10月11日時点)

	接種済み者数	神戸市人口比	接種対象人口比
65歳以上	9,502人	2.2%	2.3%
12歳～64歳	13,554人	1.4%	1.8%
合計	23,056人	1.5%	2.0%

○小児（5歳以上11歳以下）接種

(令和4年10月11日時点)

	接種済み者数	年齢別人口比
1回目接種実績	8,345人	9.7%
2回目接種実績	7,985人	9.3%
3回目接種実績	674人	0.8%

(4) 接種体制

①個別接種医療機関（市内770か所）

(令和4年10月11日時点)

区	医療機関数	区	医療機関数
東灘区	131	長田区	44
灘区	87	須磨区	67
中央区	121	垂水区	88
兵庫区	51	西区	91
北区	90	合計	770

②集団（16 か所）・大規模（1 か所）接種会場

（令和4年10月18日時点）

区	会場名	ワクチン
東灘区	東神戸センタービル WEST 棟 8 階	BA1_ファイザー、BA1_モデルナ
	神戸ファッションプラザ 9 階	BA1_ファイザー
灘区	サザンモールセカンドストリート 2 階	BA1_ファイザー、BA1_モデルナ
中央区	センタープラザ 9 階	BA1_ファイザー、BA1_モデルナ
	市役所 1 号館 24 階 （夜間接種会場（平日 18:00～21:00））	BA1_ファイザー、ノババックス
	神戸キメックセンタービル 4 階	BA1_ファイザー
	ハーバーランドセンタービル （大規模接種会場）	BA1_ファイザー、ファイザー
兵庫区	兵庫区役所 2 階（みなとがわホール）	BA1_ファイザー、BA1_モデルナ
北区	鈴蘭台プラザ	BA1_ファイザー、BA1_モデルナ
	エコール・リラショッピングセンター本館 5 階	BA1_ファイザー、BA1_モデルナ
長田区	長田区文化センター 3 階	BA1_ファイザー、BA1_モデルナ
須磨区	須磨区役所 4 階	BA1_ファイザー、BA1_モデルナ
	須磨パティオ健康館 2 階	BA1_モデルナ
垂水区	垂水年金会館 4 階	BA1_ファイザー、BA1_モデルナ
西区	西神中央駅ビル 2 階北側	BA1_ファイザー、BA1_モデルナ
	JA 兵庫六甲西神文化センター 4 階	BA1_ファイザー、BA1_モデルナ
	キャンパススクエア本館 2 階	BA1_モデルナ

※ 集団・大規模接種会場で使用するオミクロン株対応ワクチンは、11月1日以降、オミクロン株（BA4-5）対応ワクチンに変更する。

③小児（5歳以上11歳以下）の個別接種医療機関（市内125か所）

（令和4年10月11日時点）

区	医療機関数	区	医療機関数
東灘区	22	長田区	5
灘区	14	須磨区	10
中央区	15	垂水区	17
兵庫区	9	西区	17
北区	16	合計	125

（6）その他の接種

①施設接種の促進

市内の高齢者施設・障害者施設等での接種について、迅速に完了できるよう支援する。

- ・ 接種実施にかかるマニュアルの提供
- ・ 利用者等の接種券の確保支援

- ・ 施設等からの個別相談対応
- ・ 神戸市医師会と連携した接種医のあっせん（接種医を確保できない場合）

②訪問接種

寝たきり状態などにあり移動が難しい方など、医療機関や集団接種会場で接種を受けることが難しい方のご自宅に、医師や看護師などで構成された巡回接種チームを派遣。

○対象者

高齢者等で医療機関や大規模・集団接種会場に行くことができず、往診での接種もできない方とその介護者・同居者等

○申し込み方法

ケアマネージャー・障害者相談支援センターを通じて申し込みを受け付け

③配慮が必要な方のための接種会場

知的障害者（療育手帳所持者）、精神障害者（精神障害者保健福祉手帳1級所持者）の方等で、集団接種会場等で新型コロナワクチンを接種することが難しい方やその介助者のための接種会場を設置。

○対象者

「療育手帳」または「精神障害者保健福祉手帳1級」を持っている方等で、かかりつけ医や集団接種会場での接種が困難な方

○申し込み方法

専用予約電話（078-277-3327）で予約を受け付け

○開設場所・日時

神戸市役所1号館24階（中央区加納町6丁目5-1）

日程：毎週木曜日（13：30～16：30）

6 インフルエンザとの同時流行対策


新型コロナ感染症の流行以降はインフルエンザの流行がみられなかったが、オーストラリアの流行状況から今年は流行が懸念されている。

インフルエンザによって入院治療を必要とされた方の多くは、高齢者や子どもであることから、特に感染予防対策や重症化予防策が重要である。

インフルエンザの予防接種には、発症を予防する効果や発症した場合であっても重症化を防ぐ効果がある。

また、今年度より、新型コロナワクチンとの接種間隔の規定が撤廃され、同時接種も可能となったことから、より接種をうけていただきやすくなった。





今冬は、新型コロナウイルス感染症との同時流行に備え、重症化を防止し、病床の逼迫を防ぐためにも、早期に接種を受けていただきたいと考えており、デジタルサイネージ・ポスターを活用し公共交通機関及び商業施設において啓発を図るほか、公式ホームページ及びSNSによる広報を実施するなど、様々な呼びかけを行っていく。

 **KOBE**

今年は今
インフルエンザも
流行の可能性が
あります。
ご年配の方や
お子さまは
予防接種を
お早めに。

ご年配の方やお子さまは、他の年代に比べ、
重症化リスクがあり、
入院する可能性が高くなります。

予防接種費用の助成をご利用いただける方

対象	  65歳以上の方 又は 60-64 歳の心臓、腎臓、呼吸器機能、HIV による免疫機能障害による身体障害者手帳1級 または同程度以上の方
	  満1歳～12歳のお子さま 〔接種日現在〕

期間 | 令和4年10月1日～令和5年1月31日

新型コロナワクチンとの同時接種も可能です

神戸市 インフルエンザ 予防接種 検索